船橋市生き方相談事業運営要領

(趣旨)

第1条 この要領は、船橋市における生き方相談事業（以下「相談」という。）を円滑に行うため、必要な事項を定めることを目的とする。

(相談事業の対象者)

第2条 生き方相談の対象者は、船橋市に在住・在勤・在学する女性及び男性とする。

(相談の方法)

第3条 男性相談は電話により、女性相談は面談又は電話により、相談者の持つ悩み、あるいは問題などに対して相談者が自分自身の力で解決していけるよう適切な援助をする。

(相談日時)

第4条 男性相談は毎週月曜日午後6時45分から午後8時45分までとし、月曜日が国民の祝休日にあたる場合には翌火曜日とする。女性相談は毎週金曜日午前10時から午後4時まで、及び毎週水曜日午後4時00分から午後8時30分までとする。ただし、国民の祝休日及び12月29日から1月3日までの間は休業とする。

(事務手続)

第5条 相談はすべて相談日報に記載するとともに、月計など統計整理のうえ保存する。

(相談取扱上の心得)

第6条 カウンセラーは相談に応ずるにあたり、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 相談の目的を十分認識しておくこと。
- (2) 相談の内容に従い、常にカウンセラーとして気安く相談などに応じ、適切な対応をすること。
- (3) 相談にあたっては、厳正・中立な態度で接し、知り得た内容の秘密を厳守し、当事業者の名誉・信用・社会的地位などを傷つけないよう留意する。またカウンセラーを退いた後も同様とする。
- (4) 相談範囲外の事項については、すみやかに適切な所管を教示すること。
- (5) 相談に関しての謝礼金もしくは金品の供与、又はその他の便宜は絶対に受けないこと。

(カウンセラーの資格)

第7条 カウンセラーは次の条件を満たすものとする。

- (1) 相談の学習などを通じ人格が円満で見識が高く、深い思慮と豊かな愛情を有し、広く社会の実情に通じ、かつ社会福祉の増進に熱意をもっている者。

- (2) 相談の学習及び実習の経験の豊富な者。
- (3) 相談を行うに適する健康な心身を有する者。

(カウンセラー会議)

第8条 カウンセラーと職員の意志疎通と、相談内容などのケース研究のためにカウンセラー会議を両者出席の上、必要に応じ開催する。

附 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年9月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。